

やまだ

校長 青木 清美

5月21日の運動会。いろいろな制約や制限のある中での実施となりました。帰り際、何人かの方から「感動しました」「いい運動会でした」との声が寄せられました。保護者の皆様、地域の皆様、応援ありがとうございました。

6月の全校朝会：西区人権擁護委員のお話から ～「人権とは?」「自分らしく生きるとは?」～

西区の人権擁護委員の皆様が「人権」について、お話をしてくれました。小学生の子どもたちに、「人権とは、一人一人が自分らしく生きていいですよということです」と話されました。

私は、右に掲載した、詩人の金子みすゞ作

『わたしと小鳥と鈴と』の詩を思い出しました。

このように、人にはそれぞれ良いところ・素晴らしいところがあると考えます。同様に人には苦手なところもあるはずで、それぞれが持っている良さや違いを認めることが大切です。

「自分らしく生きる」ことは、「自分勝手な行動をしてよい」とか、「自分さえよければいい」ということではありません。友だちやほかの人に「悪口等嫌がることを言う」とか「叩くとか蹴るといった嫌がることをする」ことではありません。困っていることがあるなら、それを言葉で伝える必要があります。

また、授業や委員会・クラブ、休み時間に、自分の考えや感想等を、自由に書いたり発表したりすることも「自分らしく生きる」ことです。

毎日生活する中で、子どもたちは、いろいろな悩みや困りごとを抱えることがあるかもしれません。人権擁護委員の皆様は、「そんな時に、教職員、保護者に相談してください。また、人権擁護委員の方に電話等で連絡することもできます。」とお話しされました。

わたしが両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥はわたしのよう、
地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴はわたしのよう、
たくさんうたは知らないよ。

鈴と、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

地域の皆様へ ～ 学校生活における児童のマスクの着用について ～

国や新潟市教育委員会からの通知等を受け、熱中症のリスクの高い夏場は熱中症対策を優先し、マスクを外して登下校するように指導してまいります。今後、児童が、登下校においてマスクをしていないことがあると思いますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。